

スリナム共和国海域 ブロック 31 への参入について

平成 19 年 8 月 29 日

帝国石油株式会社

帝国石油株式会社（本社：東京都渋谷区 社長：梶岡雅俊）は、子会社の帝石スリナム石油㈱を通じて、MAERSK OIL AND GAS AS 社（本社デンマーク）からスリナム共和国海域ブロック 31 における 35%の権益を取得することについて、スリナム共和国政府当局の承認を得ましたのでお知らせいたします。

ブロック 31 は、2004 年 11 月に MAERSK OIL AND GAS AS 社の子会社 MAERSK OIL SURINAME BV（以下「MAERSK OIL」）が生産分与契約により取得した鉱区であり、新規物理探査データに基づく技術評価作業が現在行われています。本鉱区の南方沿岸部ではスリナム国営石油会社によって商業油田が開発されておりますが、海域においては、多くの油ガス徴が確認されているものの、これまでに本格的な探鉱活動が行われてきておらず、今後、石油・天然ガスの発見が有望と期待されています。同鉱区の概要は以下の通りです。

- (1) 鉱区位置： スリナム共和国海上（首都パラマリボより北方に約 40km）
水深約 20～130m
- (2) 鉱区面積： 約 13,860 km²
- (3) 権益構成： MAERSK OIL 65%、帝石スリナム石油㈱ 35%

当社グループは、中南米において、既にメキシコ、ベネズエラおよびブラジルでの石油・天然ガスの探鉱・開発・生産事業を実施しております。本邦企業として初めて同共和国の石油の探鉱・開発事業に参入することにより、当社グループによる中南米地域での一層の事業拡大を目指してまいります。

以上

ブロック31 鉱区位置図

